



2020年3月期第1四半期 決算説明会

住

Infrastructure

2019年7月31日
株式会社トプコン
取締役兼上席執行役員
CFO 財務本部長
秋山 治彦

医

Healthcare

食

Agriculture

2020年3月期第1四半期 決算説明会

I. 2020年3月期第1四半期 決算報告

II. 2020年3月期 通期見通し

III. 自己株式の取得

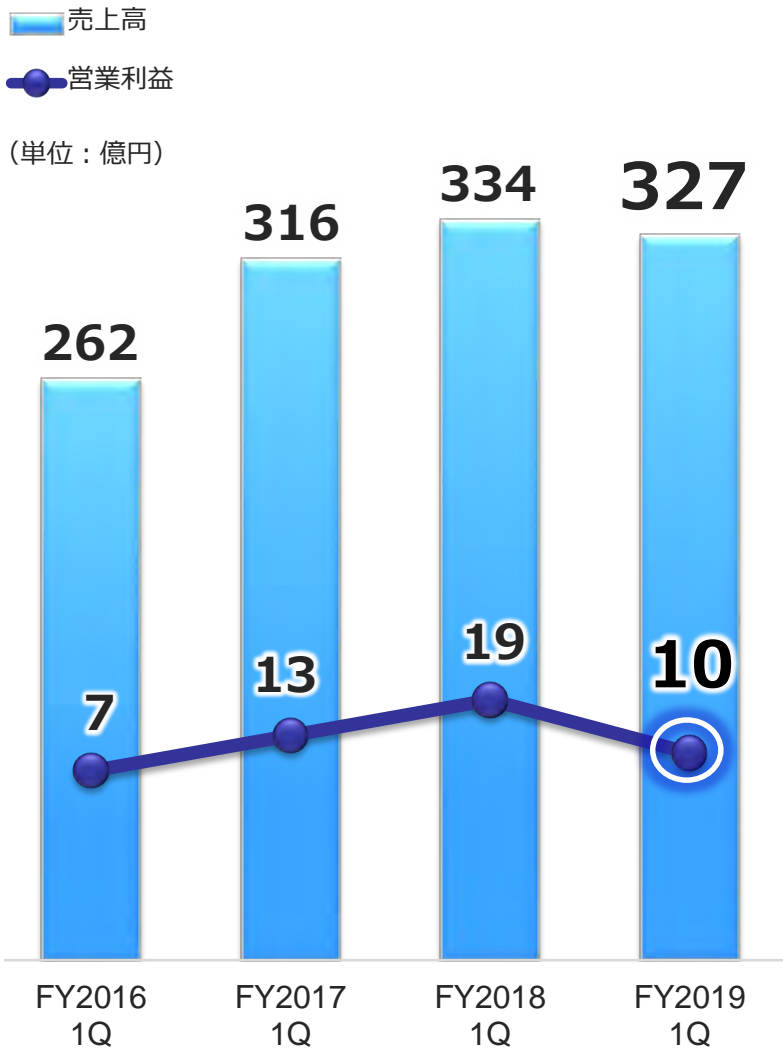
IV. 参考資料

I. 2020年3月期第1四半期 決算報告

I-1. 2020年3月期第1四半期 決算報告

I-2. 事業別の状況

FY2019 1Q決算概要と業績見通し



・ 売上横ばい、先行投資を吸収できず減益

	1Q実績	前年同期比
売上高	327億円	△2%
営業利益	10億円	△47%

・ 先行き不透明も基幹事業は堅調

通期業績見通しは据え置き

現状

- ポジショニング : ICT自動化施工 販売好調
IT農業 販売減速
- スマートインフラ : i-Construction 販売好調
- アイケア : スクリーニングビジネス伸長

FY2019 1Q実績 [連結]

(単位：百万円)

	FY2018	FY2019		
	1Q実績	1Q実績	前年同期比	前年同期比%
売上高	33,406	32,747	△659	△2%
売上総利益 (売上総利益率)	18,077 (54.1%)	17,692 (54.0%)	△385	
販管費	16,171	16,682	511	
営業利益 (営業利益率)	1,905 (5.7%)	1,009 (3.1%)	△896	△47%
営業外損益	△304	△442	△138	
経常利益	1,601	567	△1,034	△65%
特別損益	△150	△562 ※	△412	※ ifa社の株式売却に伴う損失
税引前利益	1,451	4	△1,447	
四半期純利益	492	△375	△867	-%
為替 換算レート (期中平均)	USD EUR	108.71 円 129.39 円	110.00 円 123.29 円	1.29 円 △6.10 円

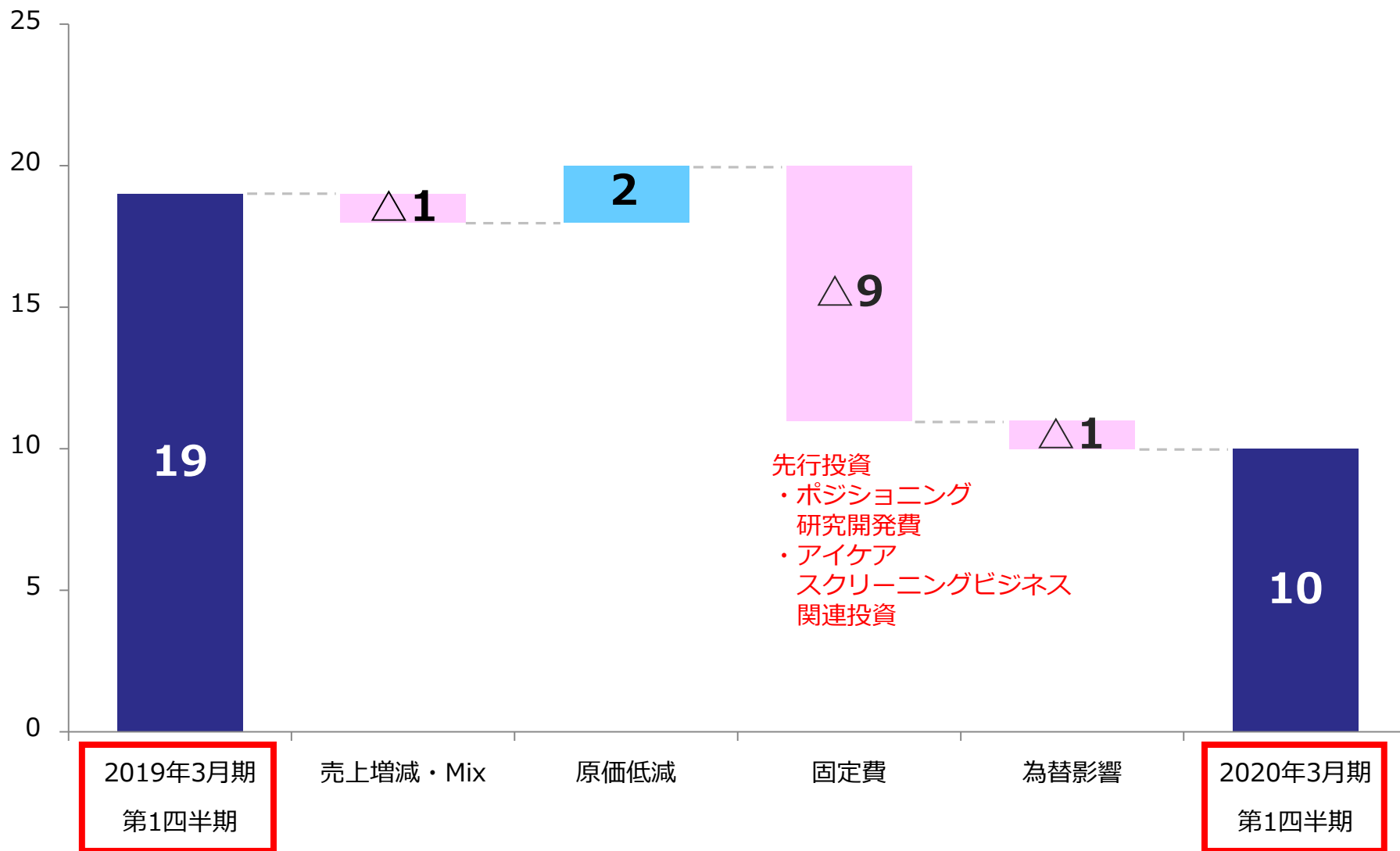
FY2019 1Q事業別実績 [連結]

(単位：百万円)

		FY2018	FY2019		
		1Q実績	1Q実績	前年同期比	前年同期比%
売上高	ポジショニング	18,430	18,188	△242	△1%
	スマートインフラ	8,182	7,043	△1,139	△14%
	アイケア	10,047	10,321	274	+3%
	その他	450	316	△134	△30%
	消去	△3,704	△3,121	583	
	合計	33,406	32,747	△659	△2%
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	1,823 (9.9%)	1,203 (6.6%)	△620	△34%
	スマートインフラ	877 (10.7%)	797 (11.3%)	△80	△9%
	アイケア	246 (2.4%)	114 (1.1%)	△132	△54%
	その他	△19 (△4.2%)	△47 (△15.2%)	△28	-%
	調整	△1,023	△1,057	△34	
	合計	1,905 (5.7%)	1,009 (3.1%)	△896	△47%

FY2019 1Q増減益分析 (営業利益ベース:前年同期比)

(単位：億円)



I. 2020年3月期第1四半期 決算報告

I-1. 2020年3月期第1四半期 決算報告

I-2. 事業別の状況

(単位：百万円)

	FY2018	FY2019		
	1Q実績	1Q実績	前年同期比	%
売上高	18,430	18,188	△242	△ 1%
営業利益 (営業利益率)	1,823 (9.9%)	1,203 (6.6%)	△620	△ 34%

■ 1Q業績要因分析

- ICT自動化施工 販売好調
- IT農業 世界的に減速感が増す
- 研究開発費や一時的展示会費用を吸収出来ず収益低下
- 対中関税引上げによる輸入コスト負担増 (対策着手済)

■ トピックス

- ICT自動化施工 OEMパートナー増加による販売伸長
戦略的新製品投入で販売伸長

世界最大の建機展Bauma (3年毎に開催)

出展社3,700社、**来場者62万人 (史上最高)**

会場：ミュンヘン・ドイツ 2019年4月

bauma
APRIL 8-14, 2019, MUNICH

主要建機メーカーが続々と
ICT対応機種をリリース



30以上の建機メーカーと
パートナー関係を構築

各社建機に後付け可能！
ベンダーニュートラルの強みを発揮



New 自動ショベルシステム 販売が本格化！

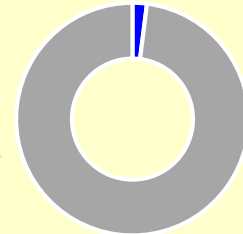


市場サイズと普及率

現状ICT搭載型油圧ショベルの普及率は低く成長余地が大きい

油圧ショベル

普及率



※耐用年数8年を想定（当社推計値）

各社ショベルに後付け可能（ベンダーニュートラル）



(単位：百万円)

	FY2018	FY2019		
	1Q実績	1Q実績	前年同期比	%
売上高	8,182	7,043	△1,139	△ 14%
営業利益 (営業利益率)	877 (10.7%)	797 (11.3%)	△80	△ 9%

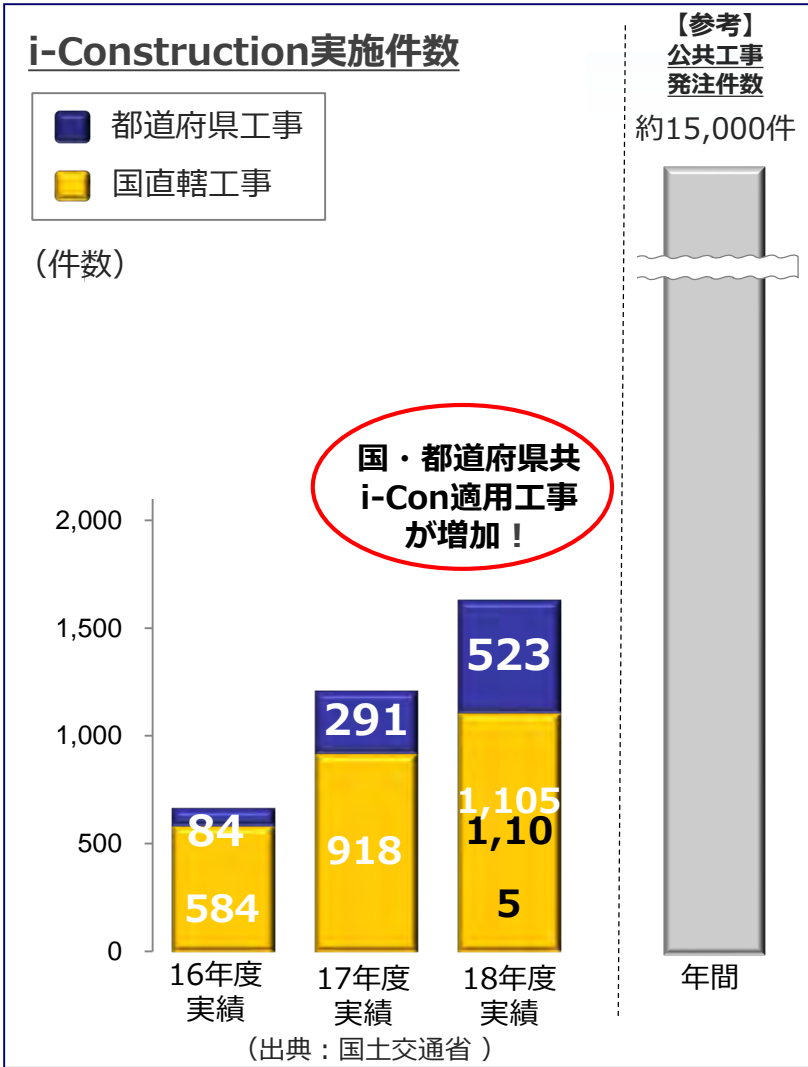
■ 1Q業績要因分析

- i-Construction 販売好調
- 中国建設市場の減速に伴う販売停滞
- 東南アジア市場の一時的な販売鈍化
- 原価低減による利益率の向上

■ トピックス

- i-Construction 市場は拡大基調
- 新パートナーシップによる
i-ConstructionおよびIT農業の普及加速

マーケット動向



第2回建設・測量生産性向上展

(2019年5月 幕張メッセ)

i-Con需要拡大に伴い大盛況



各建機メーカーがICT建機を展出





戦略的パートナーシップを締結！！
建設・土木業界向けのワンストップ
ソリューションを提供！

(2019年3月12日発表)

<https://www.topcon.co.jp/news/20190312-26136.html>



オートデスク(株) (株)トプコン



スマート農業を加速！！
ヤマハ発動機と協業

(2019年3月8日発表)

<https://www.topcon.co.jp/news/20190308-26127.html>



国際航業(株) (株)トプコン
ヤマハ発動機(株) ウォーターセル(株)

**i-Constructionの
普及加速を共に目指す！**

**IT農業の普及加速を
共に目指す！**

(単位：百万円)

	FY2018	FY2019		
	1Q実績	1Q実績	前年同期比	%
売上高	10,047	10,321	274	+3%
営業利益 (営業利益率)	246 (2.4%)	114 (1.1%)	△132	△ 54%

■ 1Q業績要因分析

- スクリーニングビジネスが伸長
- 中国向け販売伸長
- スクリーニングビジネスへの先行投資

■ トピックス

- 戦略的新製品 Maestro2リリース
- スクリーニングビジネス拡大
- 中国ビジネスの拡大

■ 待望の新モデルリリースで売上拡大 スクリーニング市場向け売上拡大に期待

特長

✓ベストセラー機 Maestroの

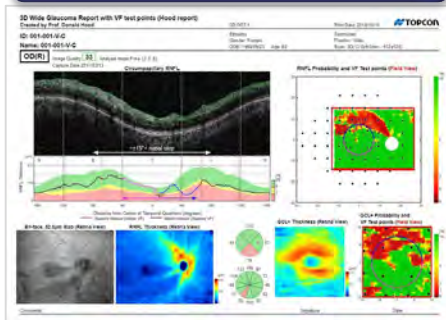
フルオート撮影機能を踏襲



✓上位機種のみには搭載されていた二つの**新機能を追加**

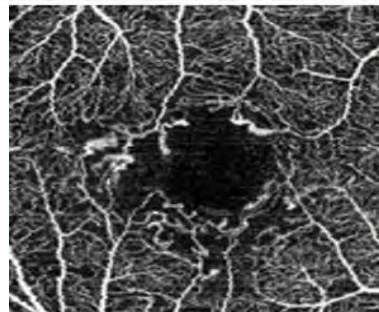
New

緑内障解析レポート機能



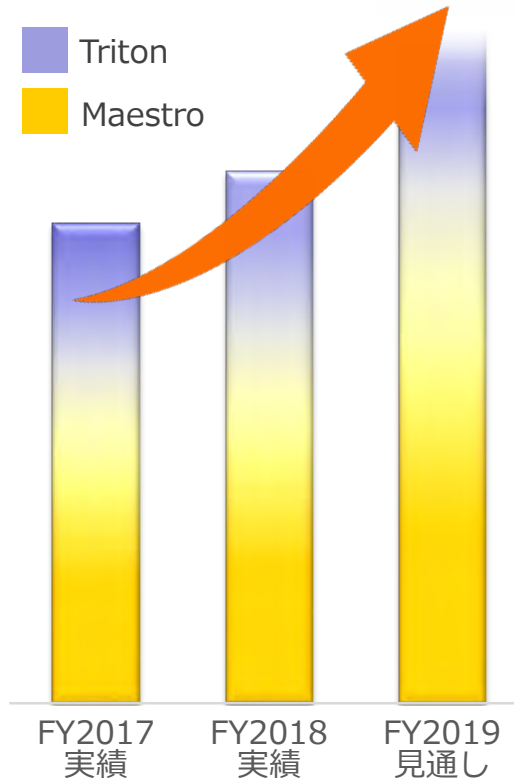
New

Angiography機能 ※



※Angiography機能：眼底の毛細血管を可視化する技術（造影剤注射不要）

3D OCT グローバル販売見通し (台数)



全米最大のフランチャイズ眼鏡店との取引開始

約**3,300**店舗
(年商**28億**ドル)
※全米最大

新製品
Maestro2の
販売拡大に期待！



3DOCT-1Maestro2
3D OPTICAL COHERENCE TOMOGRAPHY

VISION SOURCE
SIGNATURE EYE CARE

Vision Source社
1991年創立 米国テキサス州
ヒューストンキングウッド本社
全米最大の眼鏡店フランチャイザー

※ 参考 2018年全米眼鏡店売上ランキング (Vision Monday誌 2019年5月号)
http://www.visionmonday.com/CMSDocuments/2019/05/vmtop50retailers_VM0519.pdf

Specsavers社※が 豪州地域のほぼ全店舗へ Maestroを導入

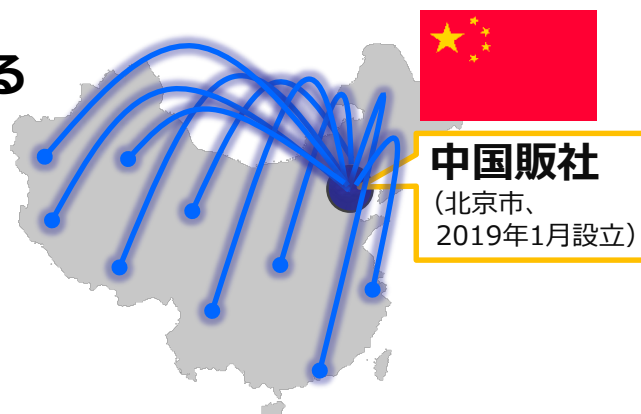
※10カ国・1,600店舗を展開する
グローバル眼鏡チェーン

他地域の店舗にも展開予定



販売網拡充により売上伸長

販社設立/販路再編による
市場カバレッジ拡大



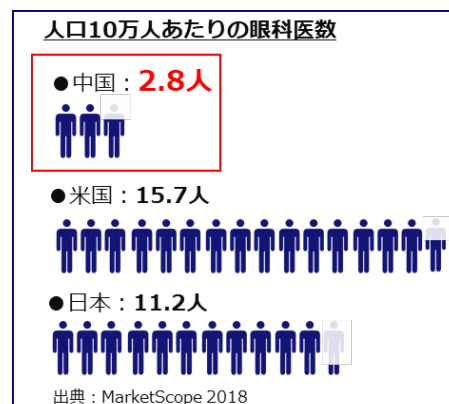
スクリーニングビジネス開拓

増加する眼底疾患患者に対し
眼科医が不足



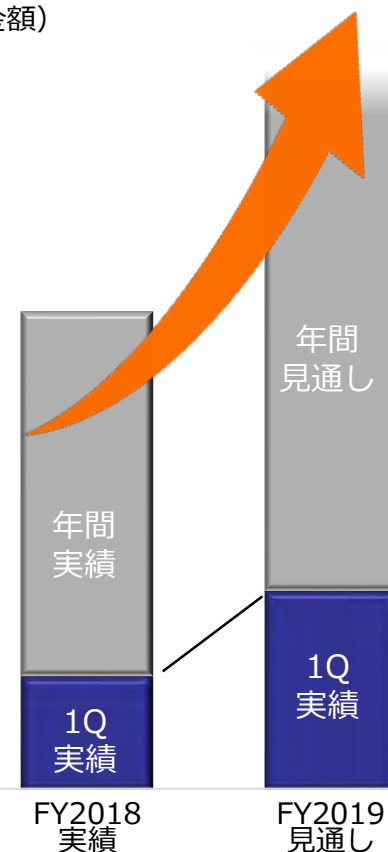
スクリーニングニーズの高まり

大手検診グループや
AI開発会社との提携により
スクリーニングビジネスを開拓



中国向け売上見通し

(金額)



Ⅱ. 2020年3月期 通期見通し

期初計画から変更なし

(単位：百万円)

	FY2018	FY2019	
	通期実績	通期見通し	前年度比
売上高	148,688	154,000	+4%
営業利益 (営業利益率)	13,596 (9.1%)	14,500 (9.4%)	+7%
経常利益	11,497	12,500	+9%
純利益	6,548	8,000	+22%
R O E	9.8%	11%	
配当	24円	28円	
配当性向	39%	37%	
為替換算レート	USD	110.69円	110.00円
(期中平均)	EUR	128.43円	125.00円

FY2019 通期計画 [連結] (事業別)

(単位：百万円)

		FY2018	FY2019	
		通期実績	通期見通し	前年度比
売上高	ポジショニング	77,722	79,000	+2%
	スマートインフラ	36,744	38,500	+5%
	アイケア	47,713	51,000	+7%
	その他	1,698	1,500	△12%
	消去	△15,190	△16,000	
	合計	148,688	154,000	+4%
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	8,358 (10.8%)	8,500 (10.8%)	+2%
	スマートインフラ	6,393 (17.4%)	6,600 (17.1%)	+3%
	アイケア	2,896 (6.1%)	3,400 (6.7%)	+17%
	その他	△65 (△3.9%)	0 (0.0%)	-
	調整	△3,986	△4,000	
	合計	13,596 (9.1%)	14,500 (9.4%)	+7%

Ⅲ. 自己株式の取得

当社事業の成長性と現市場価格を勘案し、
以下の内容で自己株式取得を行う

取得株数

200万株（上限）

取得金額

26億円（上限）

取得期間

2019年8月1日～10月31日

【TOPCON WAY】

トプコンは「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。

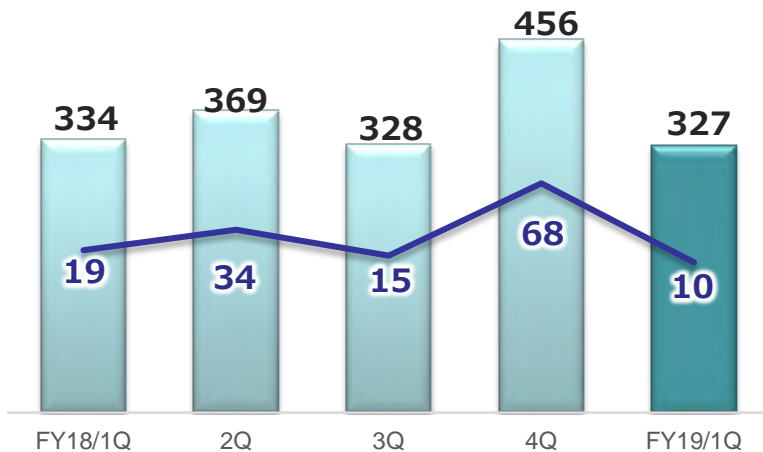


IV. 參考資料

四半期別業績推移

■ 全社

売上高 営業利益 (単位：億円)



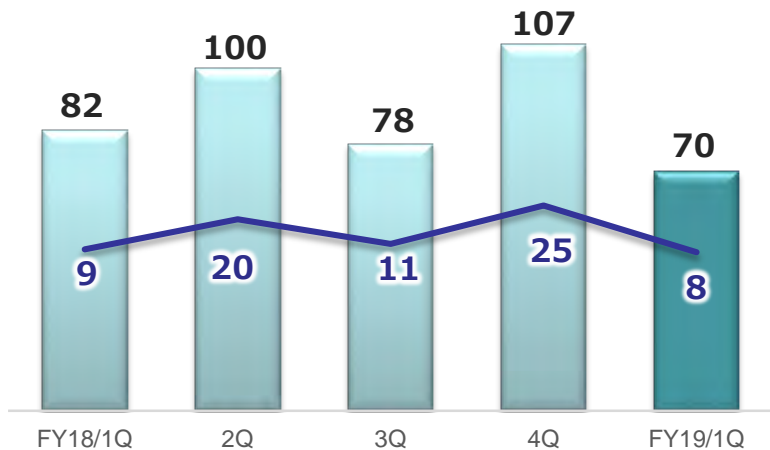
■ ポジショニング・カンパニー

売上高 営業利益 (単位：億円)



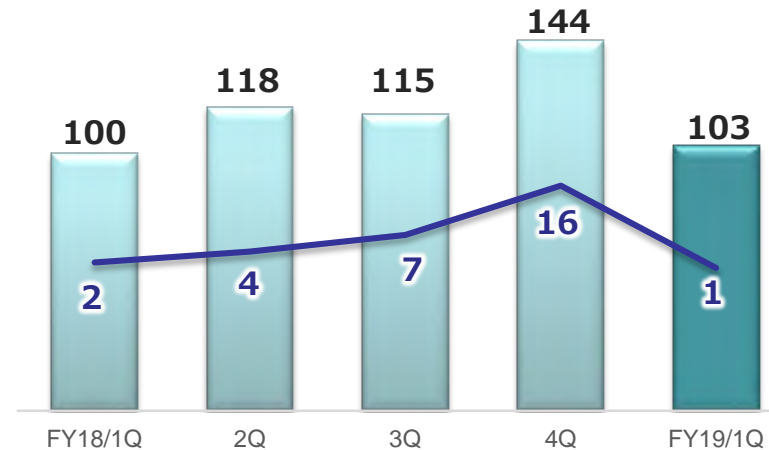
■ スマートインフラ・ビジネス

売上高 営業利益 (単位：億円)



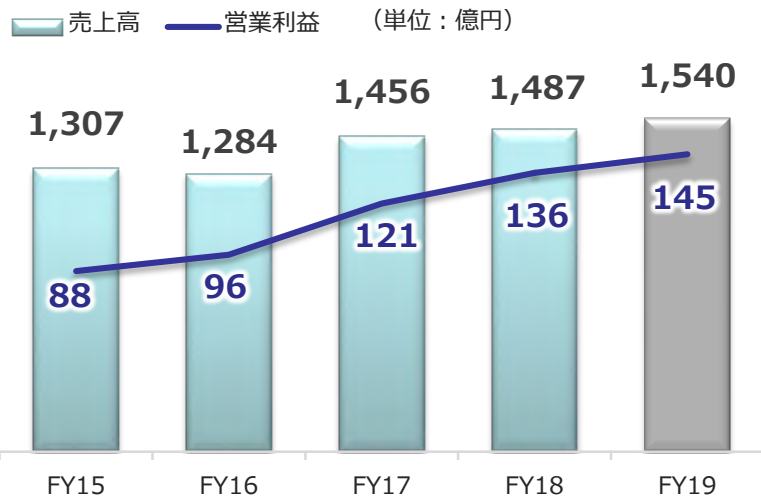
■ アイケア・ビジネス

売上高 営業利益 (単位：億円)

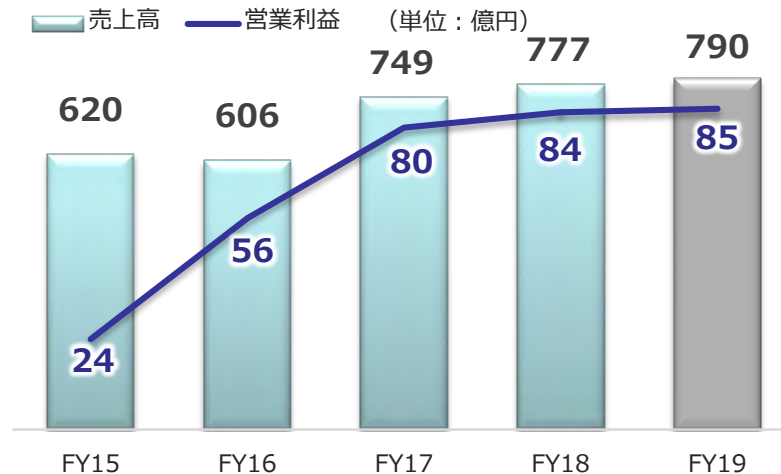


年間業績推移・見通し

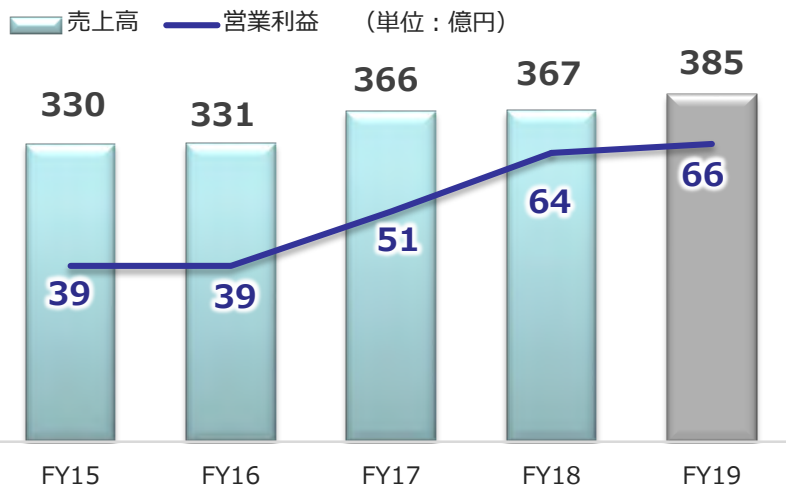
■ 全社



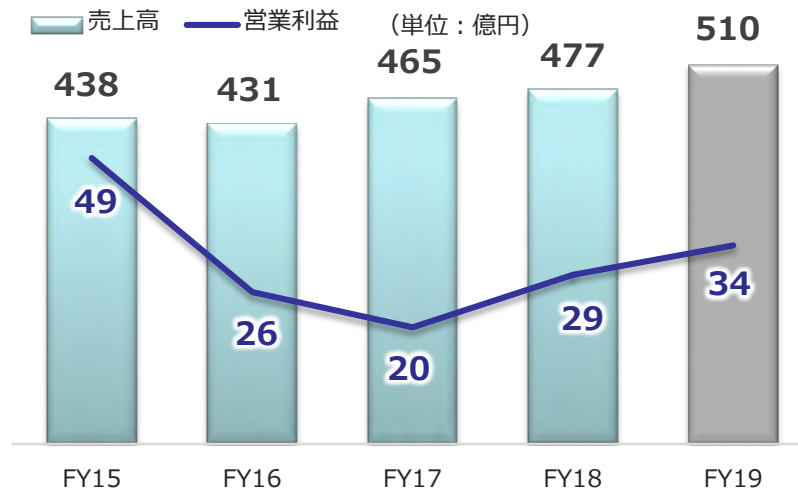
■ ポジショニング・カンパニー



■ スマートインフラ・ビジネス



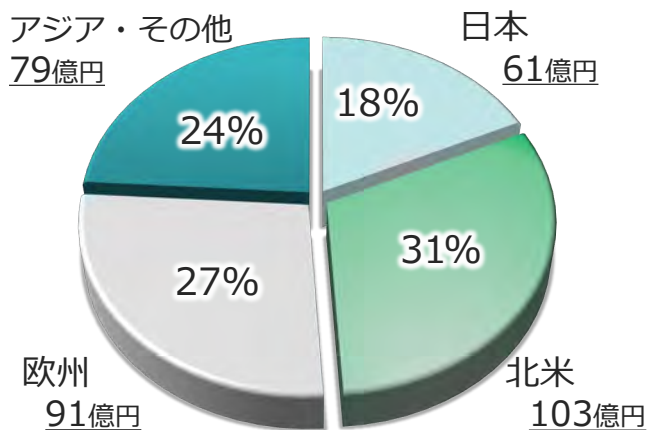
■ アイケア・ビジネス



地域別売上高

FY2018/1Q

334億円

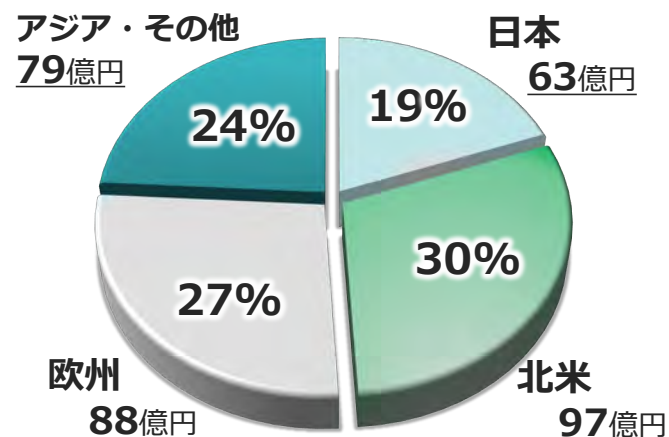


前年同期比

△2%

FY2019/1Q

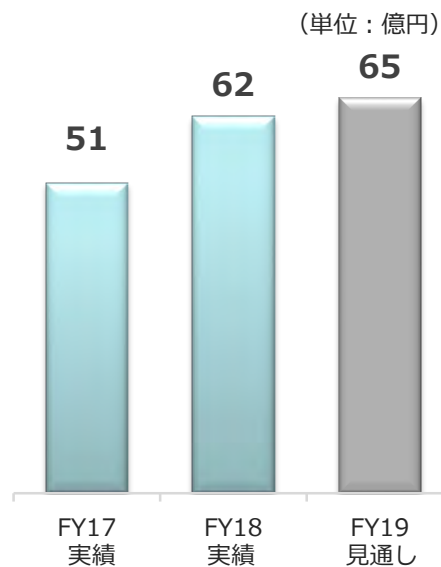
327億円



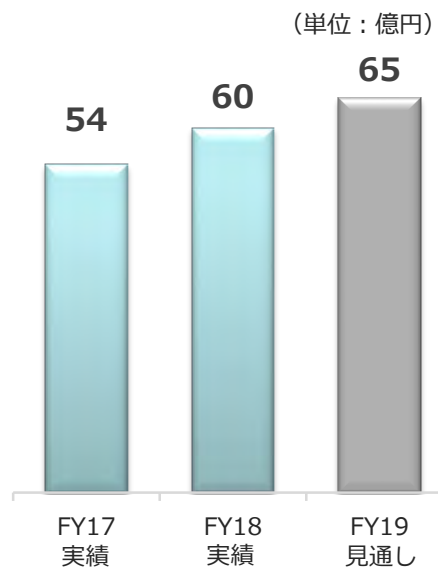
FY2019 設備投資および研究開発費 / 為替感応度

■ 投資額・費用見通し

設備投資額

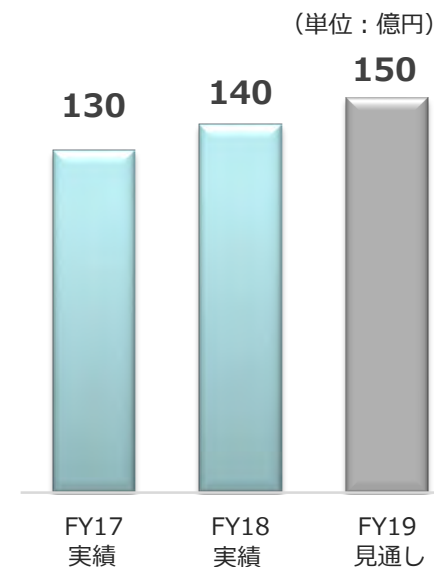


減価償却費*



*のれん償却費を除く

研究開発費



■ 為替感応度（1円の変動による影響額）

USD：営業利益 1.5～2億円

EUR：営業利益 0.7～1億円

当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、見通しのもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

お問い合わせ先

株式会社トプコン 広報・IR室

TEL : 03-3558-2532

E-mail: investor_info@topcon.co.jp

URL : <https://www.topcon.co.jp>